

団体名： 豊山町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考											
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等									
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②								
巡回・窓口相談指導事業	小規模等細企業を中心に、経営指導員等が事業所へ訪問し経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図る。また、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 246件（うち非会員7件） ・巡回窓口指導延件数 630件（経営指導員2×250件） ・課題解決提案件数 22件（経営指導員2×10件） ・経営革新承認件数 2件 ・経営力向上計画 1件 ・先端設備等導入計画 2件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 126.0%)	500	実績数値	630	指標	課題解決提案件数 (達成度 110.0%)	20	実績数値	22	得られた効果	小規模事業者の相談相手として、企業の体質改善支援及び各種施策普及を図ることが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	未加入事業所訪問時に、個々の各種施策、補助金制度等PRに努め、事業所の継続的発展に寄与する。
記帳継続指導	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と、決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	・指導対象者数 78件 ・指導延日数 377日 ・指導延回数 876回	豊山町内個人事業主	指標	記帳指導事業者数 (達成度 105.4%)	74	実績数値	78	指標	(達成度 %)		実績数値		得られた効果	本年も記帳継続指導を通して、正しい税務知識を修得してもらうとともに、税務相談を通して昨今の経済情勢における企業の納税意識の向上も図ることが出来た。新規の記帳対象者にはいずれ自己記帳を希望する者へは、内容の理解を深められるよう指導を心掛けた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	記帳担当の職員が変更になる中、他の商工会会の指導方法も参考に、これまでの指導方法の見直しを検討している。これから見直しを検討するので、次年度の目標は現行どおりとする。
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経営・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	集団 4回 89企業 91人 個別 13回 77企業 77人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 112.0%)	150	実績数値	168	指標	(達成度 %)		実績数値		得られた効果	小規模事業者の経営上必要な知識の習得、資質の向上に資することが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	税務申告時PCにより記帳、国税庁ホームページを利用した申告書作成が普及し、今後手書きによる作成の減少を図っていく。
若手後継者育成事業	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図る為の講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	H30.11.19補助金活用セミナー 参加者10人 H30.12.18補助金活用セミナー 参加者10人 H31.1.22補助金活用相談会 参加者4名	女性部員及び小規模事業者	指標	セミナー参加者延べ人数 (達成度 96.0%)	25	実績数値	24	指標	(達成度 %)		実績数値		得られた効果	女性部において補助金活用セミナーを開催し、会員事業所にも参加を呼びかけ、補助金制度の内容や事業計画の策定方法、事業の見直しについて理解を深めた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	小規模事業者の需要に応えるため、セミナーの内容、開催回数を変更し実施する。
地域産業祭事業	豊山町住民に地域産業を紹介するとともに、ふれあいの場を設けて商工会活動への理解を深め、もって産業の発展と振興に寄与することを目的とする。	H30.10 社会教育センターで開催 出店者数 24店	豊山住民	指標	出店事業者数 (達成度 80.0%)	30	実績数値	24	指標	(達成度 %)		実績数値		得られた効果	地域住民に地域産業に対する認識が高まり、商工会活動にも理解が深まった。また、地域産業の発展と振興に寄与することが出来た。	総合評価	B	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	地域に根付いた行事であり、町民の支持を得ている。
地域まつり	商工会や行政が主催するイベント等に出店することを提案し、各事業所の販路開拓支援をすることにより、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	出前朝市イベント出店 6回 福祉フェア・環境フェア・ユーマラツ合同出初式・航空祭・愛知ふるさと市 など 出店合計37店舗 平均6店舗 わくわくウォーキング H30.6.3 197人 H30.12.2 198人	小規模事業者及び豊山住民	指標	出前朝市等平均出店者数 (達成度 60.0%)	10	実績数値	6	指標	わくわくウォーキング参加者数 (達成度 131.7%)	300	実績数値	395	得られた効果	各事業を通して地域の産業や商工会のPR等を図るとともに、会員企業相互の交流や、会員企業と消費者である町民との交流を図ることが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	朝市は出前朝市としてイベント出店のみで改善したため好評だが、割り当てられたスペースの兼ね合いがあるため目標数を下げる。また、わくわくウォーキングを新規で2回開催したが、他の新規事業に伴い1回に減らすため目標数も変更する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金）

団体名： 豊山町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の継続的な安定を図るために、各種共済制度を普及し企業の健全な育成に資することを目的とする。	小規模企業共済 90件 倒産防止共済制度 6件 中小企業共済 85口 特定退職金共済 147口 PL保険 3口 業務災害・ヒソジ総合保険 9件 団体自動車保険 10件	中小・小規模事業者	各種共済加入数 (達成度 92.1%)	380	350	指標 (達成度 %)	各種共済加入数 (達成度 %)	各共済とも、全会員宛発送文書のある際、コメントを添付したり、会議や講習会の際に説明するなどして周知することが出来た。 中小企業共済については共済担当者と巡回し制度説明に回った。団体自動車保険については産業まつりで保険代理店が出店しPRした。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	各種共済内容を職員で再確認し、会員相談の際に、各事業所に適した共済を提案できるようにしたい。
健康普及事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする。 また、役場保健センター及び清須保健所と協力し、町内事業所従業員の健康相談も併せて行う。	H30.9.21 豊山町社会教育センターで実施	会員事業所及び従業員	受診者数 (達成度 82.6%)	190	157	指標 (達成度 %)	受診者数 (達成度 %)	中小企業及び小規模企業等の従業員の健康状態をチェックしてもらうことにより、企業の福利厚生充実へ繋げることが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標②	協会けんぽの補助が受けられるような仕組みに改善し、特に法人事業所の受診者を増やしていきたい。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	事業所数 64企業 従業員数 116人	中小小規模事業者	委託事業者数 (達成度 106.7%)	60	64	指標 (達成度 %)	委託事業者数 (達成度 %)	労働保険加入による、従業員雇用安定を充実させることが出来た。 また、事業主の事務負担を軽減し労働保険の適用促進を図ることが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	労働保険の加入の必要性をPRし、従業員の福利厚生の充実を図っていく。
税務関係団体指導事業	法人会の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、商工業の活性化に資することを目的とする。	H30.5 通常総会 H30.10 PR活動 H30.11 視察研修会 H30.12 講習会 H31.1 研修会・賀詞交換会	豊山町内法人企業	会員数 (達成度 90.8%)	185	168	指標 (達成度 %)	会員数 (達成度 %)	存続の危機に直面した企業へ向うを命じた講師を招き、取引先との信頼関係を構築し商品管理、業務改善に取り組んだ経験等企業経営に役立つ内容となった。1月の研修会は、女性講師を講師として招き、健康寿命を延ばすための秘訣やコミュニケーション術を学んだ。また、視察研修として伊賀市の6次産業事業所を見学。 また、会員企業間の事業活動拡大の機会として賀詞交換会を開催した。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	主に建設業で法人化する事業所がある為法人組織としての知識UPに務める。
商店街振興事業	豊山町の消費者等への交通や防犯の安全及び美化を目的として、設置している街路灯の維持管理をする。	街路灯をLED化することで夜間も安心して買い物出来る環境を構築し、個店の売上増に貢献した。	街路灯設置小規模事業者	街路灯設置数 (達成度 98.7%)	77	76	指標 (達成度 %)	街路灯設置数 (達成度 %)	街路灯を設置することにより防犯に貢献することが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	廃業に伴う廃灯があったため、目標数を変更する。
青年部・女性部事業	会議・行事・事業での青年部・女性部員間の交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部 会議 9回 41人 交流事業 1回 15人 振興事業 2回 13人 その他 10回 20人 青年部合計22回89人平均4人 女性部 会議 5回 50人 交流事業 3回 36人 主催協賛事業2回24人 女性部合計10回110人平均11人	青年部員 女性部員 及びそのOB	青年部事業への平均参加人数 (達成度 80.0%)	5	4	指標 (達成度 %)	女性部事業への平均参加人数 (達成度 110.0%)	青年部においては、積極的に会議・事業に参加し、地域の活性化に大いに貢献したが、後継者不足等による部員数減少のため、参加人数の実績数値は目標を達成出来なかった。 女性部については、会議・事業を通じ部員間の情報交流を深め、青年部同様地域の活性化に貢献した。また部員以外も参加できるようにし、いずれ女性部員に加入してもらえよう積極的に声掛けも行った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	青年部は部員の減少が著しいため、青年部員増強を重点的に取り組んだが、思うように進んでいない。部員数に含ませて目標数を下げるが、継続して部員増強に努めたい。 また女性部については高齢化が進んでいるので、若い世代の加入を増やすため、事業の見直しを検討する。
部会・委員会事業	各種事業・行事・会議において商業・工業部会との交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。また、その目的のために委員会を開催する。	商業部 会議 2回 14人 総代会 1回 16人 事業 4回 講習会 49人 輪くくり 8人 環境美化2回 15人 工業部 会議 3回 総代会 1回 15人 幹事会 2回 13人 事業 3回 視察研修 10人 産業まつり 8人 合計 16回 148人 平均9人	小規模事業者	各種事業への平均参加人数 (達成度 112.5%)	8	9	指標 (達成度 %)	各種事業への平均参加人数 (達成度 %)	会員・部員相互の親睦が深まり、重要な情報交換の機会が得られた。 また、各事業に協賛することにより、イベントの集客に寄与することが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	各部会の役員も後継者不足により、高齢化が進んでいるので、若い世代の役員を増やしたい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。

※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。

※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。